

まちづくりオープンミーティング 意見・回答概要

日 時：令和 8 年 4 月 18 日（土） 14：00～15：30

会 場：東加古川公民館 15 人

視聴者数：Instagram 299 人（最大同時接続数 25 人）

YouTube 254 人（最大同時接続数 71 人）

会場

| No. | 種別 | 内容 |
|-----|----|--|
| 1 | 意見 | 自宅のすぐ南側に公共施設が建設されると聞いているが、建物が 1.5 メートルしか離れていないことから、日当たりや生活環境への影響が心配である。担当課の説明は受けているものの、建物の配置や設計の工夫を検討してほしい |
| | 回答 | この施設は、新たな教育ニーズに応えるための施設であり、早期の設置が求められている。校舎は 1 階建てで、日照への影響は大きくないと考えている。担当課も繰り返し説明を行っており、近隣の方も安心して生活できる施設として設計していく。引き続き、担当課と連携しながら、理解を得て進めていきたい。 |
| 2 | 意見 | こどもが通う学校で、学級崩壊に近い状況があった学年に在籍しており、最近いじめが発覚した。学校や教育委員会是对応しているものの、先生方がすべての場面を見守ることは難しい。スクールポリスのような制度や教室内の緊急連絡手段を導入できないか。 |
| | 回答 | 市教委では、スクールアシスタントやメンタルサポーターなど、専門家を含めたサポート体制を整えている。市役所北館には、スクールサポートチームとしてスクールロイヤー、心理士、警察 OB 及び学校支援ソーシャルワーカーなどが現場と連携し、困りごとへの対応を行っている。また、教職員の加配については、定められた基準に基づき調整している。また、こどもたちがタブレットなどを活用して悩みごとを相談するなど、さまざまなやり方がある。提案いただいた内容については、まず現状を確認したい。 |
| 3 | 意見 | 75 歳以上の高齢者に対する交通助成について、かこバスの運賃助成や、バス・タクシー利用への支援など、今後も安心して生活できるような取り組みを検討してほしい。 |
| | 回答 | 市では、かこバスやかこバスミニ、乗り合いデマンドタクシーなど、地域ごとの移動手段の確保に取り組んでおり、現在も 100 円から 200 円という比較的利用しやすい料金設定となるよう、多額の税負担を行っている。また、民間バス路線についても補助を行い、路線維持に努めている。今後さらに高齢化が進む中で、買い物や通院、地域活動などの移動手段の確保は重要な課題であると認識している。現在、次期公共交通計画の検討を進めており、今後どのような支援ができるか検討していきたい。 |
| 4 | 意見 | 神姫バスの減便などにより、日中の移動手段が不足している地域がある。志方地区などでは町内会と協議しながら路線を決めてきたとのことだが、市役所経由や東加古川、別府方面へ向かうメイン路線についても、地域の声を踏まえた再検討をしてほしい。 |
| | 回答 | かこバスのメインルートについても、これまでも町内会や地域の皆さん、神姫バスと相談 |

| | | |
|---|----|--|
| | | <p>しながら見直しを行ってきている。一方で、すべての地域の皆さんにとって最適なルートにすることは難しく、地域によっては、かこバスミニなどを活用し、細い道路や住宅地を通る補完的なルートも整備している。今後も、地域の実情や利用状況を踏まえながら、どのような可能性があるのか、地域の皆さんと相談しながら検討していきたい。</p> |
| 5 | 意見 | <p>市では、市民後見人の育成に前向きではないと聞いている。法律の専門家ではなく、市民の方が後見人として活躍できるような育成の取り組みについて、今後の考えを知りたい。</p> |
| | 回答 | <p>市では、ニッケパークタウン近くの総合福祉会館に、成年後見支援センターを設置している。弁護士、司法書士、社会福祉士といった専門職が後見人となることが多いが、市民後見人の育成については、他自治体で行われている事例もあり、市としても現状や考え方を確認したい。また、高齢者自身が人生の終末期に向けて準備や家族との話し合いを行うことは重要であり、市としても支援している。</p> |
| 6 | 意見 | <p>かこのちゃんのイラストについて、企業の商品に使用できれば、地域の誇りや盛り上がりにつながられるのではないかと。使用にあたって制限があるのか、方針を知りたい。</p> |
| | 回答 | <p>かこのちゃんは、市民や幅広い世代から好評を得ており、ラッピングバスなどでも親しまれている。公式ダンスも職員とともに収録しており、近日中に公開予定である。なお、イラストの活用については、商品そのものへの加工などは現在制限されているが、商品パッケージ等への使用については、活用可能な事例もあり、企業が市民に親しまれる形で活用いただけることを期待している。</p> |
| 7 | 意見 | <p>市では、防災力向上や備品整備、災害情報伝達の強化の取り組みが項目として上がっているが、実際の活動が少なく、市職員が主体的に動かず、ボランティア任せになっているのではないかと。姫路市や播磨町のように、地域防災士やボランティアを登録し、講習会や訓練に参加させるような仕組みを整備すべきではないかと。</p> |
| | 回答 | <p>市では、総合防災訓練を毎年実施し、町内会や関係団体も参加している。また、防災士の育成事業も整備しており、防災安全部や消防職員がリクエストに応じて地域での出前講座や講演を行うなど、多様な取り組みを進めている。能登半島地震に関しても、職員が現場に出て支援にあたっており、職員主体の活動も行われている。</p> |
| 8 | 意見 | <p>加古川市の公式キャラクターは「ウェルピー」なのか、それとも「かこのちゃん」なのか知りたい。</p> |
| | 回答 | <p>市の公式キャラクター（ウェルネス都市加古川シンボルキャラクター）は「ウェルピー」である。一方、現在は観光大使のいとうのいちさんのイラスト「かこのちゃん」（加古川市まちの魅力発信キャラクター）が好評であるため、シティプロモーションでは、「かこのちゃん」を前面的に活用している。市では他にも、上下水道局のキャラクターや、かつめしの「かつつん」や「デミーちゃん」などがある。用途や目的に応じて使い分けられており、時代の流れや取り組みに合わせ、各キャラクターを活用している。</p> |

| | | |
|----|----|--|
| 9 | 意見 | 加古川市では、図書館や体育館、児童クラブなどで民間委託が進んでいるが、これは市独自の方針なのか、国の方針によるものなのか。また、将来的な上下水道の民間委託について、どのように考えているのか。 |
| | 回答 | 市では、民間事業者のノウハウや専門性を活かし、より魅力的で効率的な施設運営につなげるため、指定管理者制度などを活用している。SHOWA グループ市民会館では、全国的にホール運営を行う事業者のノウハウを活かした事業展開が行われており、公園再整備や駅前再整備でも、民間のアイデアや技術を取り入れながら進めている。こうした流れは全国的にも広がっている。一方で、上下水道については、老朽化対策や安全性確保が重要であり、すべてを民間に任せる判断はしていない。現在は、国の制度も踏まえながら、どの部分で民間の力を活かせるのか、調査・検討を進めている段階である。 |
| 10 | 意見 | 介護保険や難病指定の対象外となる症例について、支援が届きにくいケースがある。市単独では難しい課題であることは理解しているが、「誰一人取り残さない」という観点から、国への働きかけを含め、どのように対応しているのか知りたい。 |
| | 回答 | 難病指定や介護保険制度の対象外となるケースについては、制度の更新が追いついていない部分もあり、非常に悩ましい課題である。市単独で制度そのものを拡大することは難しいが、生活を支える福祉制度については、市としてできる支援をしっかりと行っていきたい。また、対象範囲の拡大や制度改善の余地については、改めて状況を確認する。 |
| 11 | 意見 | 高齢者が免許返納後に移動手段を失い、公共交通機関に頼らざるを得ない状況がある。家族の支援が受けられない方もいるため、今後、高齢者向けの交通助成について検討してほしい。 |
| | 回答 | 市では、この10年間、公共交通の充実に向けて予算を拡充し、かこバスやかこバスミニ、乗り合いデマンドタクシーなど、地域ごとの実情に応じた移動手段の整備を進めてきた。一方で、北部ではタクシーが呼びにくい地域があり、南部でもドライバー不足などの課題が生じている。また、高齢者全体への一律の交通助成については、対象人数や財政負担の面で課題があるが、まずは地域ごとの移動手段を確保することを優先して取り組んできた。今後は、利用者負担をどのように支援していくのかも含め、超高齢社会を見据えながら検討していきたい。 |

ライブ配信

| No. | 種別 | 内容 |
|-----|----|---|
| 1 | 意見 | 歩きタバコをする人が多く、子ども連れの方などから危険性や受動喫煙への不安の声がある。また、ポイ捨てなど環境面での課題もあり、今後どのような対策を進めていくのか知りたい。 |
| | 回答 | 加古川駅や東加古川駅周辺には、JT からの寄贈により喫煙所を整備している。また、市では「空き缶等の散乱及び飼い犬のふんの放置の防止に関する条例」に基づき、ポイ捨てなどを禁止し、啓発を行っている。一方で、歩きタバコやマナー違反に関する声は引き続 |

| | | |
|---|----|---|
| | | き寄せられている。条例には罰則の規定もあるが、これまで適用した事例はない。今後、具体的な場所などの情報があれば、啓発看板やアナウンスなど集中的な対応も検討していきたい。 |
| 2 | 意見 | 他市ではインバウンド誘致で成果を上げている中、加古川市にも将棋のまちやかつめしなどの地域資源がある。かわまちづくりと合わせて、市民がより地域に誇りを持てるよう、今後どのように観光振興やインバウンドに活用していくのか。また、多様性との共存についてどのように考えているのか知りたい。 |
| | 回答 | 市には、鶴林寺や教信寺、かつめしなど魅力的な地域資源がある一方、姫路城のような全国的な観光資源と比べると、海外からの観光客を大きく呼び込めるコンテンツは十分ではない。そのため、かわまちづくりや駅前再整備、大型公園整備などを通じて、まずは国内の他の地域から多くの人に訪れてもらえたらと考えている。 |
| 3 | 意見 | 物価高騰対策について、子育て世代だけでなく、高齢者を含めた全市民への支援を充実してほしい。 |
| | 回答 | 市では、物価高騰対策として、市民一人あたり 5,000 円相当の支援を実施する予定であり、4月下旬から案内を送付する。スマートフォンを利用できる方はQRコードからキャッシュレス決済ポイントなどを受け取ることができ、スマートフォンを利用しない方もコールセンターを通じてカタログギフトなどで申し込みできる仕組みを用意している。また、8月にはキャッシュレス決済によるポイント還元事業も予定しているが、今後も物価高騰が続くことを見据え、市民の声を参考にしながら支援策を検討していきたい。 |

事前質問

| No. | 種別 | 内容 |
|-----|----|---|
| 1 | 意見 | 権現総合公園について、開園当初に比べて来訪者が減っているのではないかと。今後の活性化対策を教えて欲しい。また、市の施策が見えにくい中で、分かりやすい情報発信や市民がまちづくりに参加しやすい仕組みをどう考えているのか。 |
| | 回答 | 権現総合公園は、オープンから1年が経過した現在も、週末や過ごしやすい季節には多くの親子連れに利用いただいている。一方で、真夏や真冬など季節によって利用状況に差があることから、今後も継続的な情報発信を行っていききたい。 分かりやすい情報発信については、広報紙やホームページ、SNSなどを通じて発信しているほか、ワークショップやオンライン参加型ツール「Decidim」などを活用し、市民が意見を出しやすい仕組みづくりにも取り組んでいる。 |
| 2 | 意見 | 公園の広場を特定の団体が日常的に利用していることで、子どもや一般利用者が使いにくい状況がある。利用ルールや今後の運用をどう考えているのか知りたい。 |
| | 回答 | 公園は多くの市民が利用する場所であり、利用者同士が話し合いながら、互いに気持ちよく使える環境づくりが重要である。公園の規模や利用状況によって事情が異なるため、一律のルールを設けることは難しいが、公園緑地課を中心に、町内会や利用者とも話し合いながら、適切な利用方法を検討していきたい。 |

| | | |
|---|----|---|
| 3 | 意見 | 市内の交通に関わる重要なインフラである橋について、現在進められている工事の進捗状況や完成時期を知りたい。 |
| | 回答 | 国道2号線の加古川橋については、兵庫県が主体となって整備を進めており、令和8年度末の開通予定と聞いている。また、加古川本流の上流側では、神吉中津線として整備を進めている新しい橋について、「鹿見之橋」という名称に決定している。こちらは令和13年度の開通を目指して、計画的に整備を進めている。 |
| 4 | 意見 | 学校給食において、小麦不耐症や乳糖不耐症などへの対応について不安がある。牛乳の提供方法や代替対応を含め、体質に配慮した給食対応を進めてほしい。 |
| | 回答 | 公立保育園や認定こども園、幼稚園、小学校への入園・入学時には、食物アレルギーや不耐症などについてヒアリングを行っており、必要に応じて医師や栄養教諭とも連携しながら、安全に食事ができるよう対応している。 食物アレルギーについては除去食対応を行っているほか、乳糖不耐症についても牛乳を控えるなど、すでに個別対応を行っている園児・児童もいる。その他の疾患についても、具体的にどのような食品が難しいのかなど、状況を丁寧に確認しながら対応を検討していきたい。 |